

報告事項ナ

「ケータイ・インターネットを考える高校生フォーラム」の実施結果
について

「ケータイ・インターネットを考える高校生フォーラム」の実施結果について、
別紙のとおり報告します。

平成26年3月21日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

「ケータイ・インターネットを考える高校生フォーラム」の実施結果について

家庭・地域教育課

- 1 概要 高校生自身がケータイ・インターネットとの関わり方について考え、各学校で取り組んできた自発的なモラルづくりや啓発活動の実践を発表し議論することを通じて、県内の高校生が問題意識を広く共有し、その解決へ向けて、さらに取組を推進していく「ケータイ・インターネットを考える高校生フォーラム」を開催した。
- 2 主催 ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会
(青少年のケータイやパソコン等とのより良い関わり方について協議し、ケータイ・インターネット教育啓発の推進を図るために組織した団体で、マスコミ、携帯電話事業者、青少年健全育成団体、学識経験者、PTA、県関係課で組織)
- 3 日時 平成26年2月7日(金) 13:00～15:40
- 4 会場 倉吉未来中心 セミナールーム3
- 5 参加者 150名(高校生・教員:29校125名、PTA関係者、協議会関係者、一般)
- 6 内容

(1)実践発表

＜倉吉西高等学校＞「倉吉西高の現状から」

○アンケートによる実態把握

ケータイ・スマートフォンの長時間使用、他人の情報を無自覚にネット上に載せている、メールの返事を早く返さなければならないという意識、などの課題が浮き彫りになった。

○生徒会執行部が全校生徒に提言するとともに、校内に意識付けのポスターを掲示

「倉吉西高の皆さんへの提言」

1. 電源を切ってスマートフォン・ケータイと離れる時間を作ろう
2. 学校の友だちとは直接会ってコミュニケーションをとろう
3. しっかり考えて書き込み、自分のネット上での発言に責任を持とう

○提言やポスター掲示の結果

48%の生徒がスマートフォン・ケータイを使う時間を自粛し(自粛した時間 平均68.4分)、その自粛した時間により、学習の時間が増えた。

＜八頭高等学校＞「携帯とわたし ～小さな箱の力～」

○生徒会執行部と先生が協力して啓発DVDを作成

八頭高では敷地内でのケータイ(スマホ)の使用が校則で禁止されていること、メールのやり取りなどケータイ(スマホ)に振り回される生活、個人情報や架空請求、歩きスマホなど、危険性や課題を訴えるだけでなく、どうすればいいかを具体的に紹介するための啓発DVDを作成した。

○啓発DVDの制作を通じて

自分の身近にも危険が潜んでいることや自分自身のケータイやスマホの使い方を考え直すことできた。

○制作した啓発DVDの活用

新入生説明会で、啓発DVDを使い、生徒会執行部が新入生に呼びかける。また、さまざまな機会に啓発DVDを活用していく。

<境港総合技術高等学校>「境総合6ヶ条」

○ハッピーケータイプロジェクト

スマホの機能性の高さを考えると、「免許なし」「チェック機能なし」「制限なし」では危険すぎ、ルールが必要である。そこで、ハッピーにケータイを使うための「境総合6ヶ条」(ハッピーケータイプロジェクト)を生徒会で制定した。

○「境総合6ヶ条」の内容

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 第1条 悪口は絶対に書かない！ | 第2条 勝手に人の写真を撮らない！ |
| 第3条 許可なく他人の個人情報掲載せない！ | 第4条 もめごとは直接話して解決しよう！ |
| 第5条 自分で責任を持って使用する！ | |
| 第6条 週に一度はケータイの時間を半分に家族とすごそう！ | |

○ルールを守るために

- | | |
|-------------------|--------------|
| ①生徒総会で「境総合6ヶ条」を提案 | ②合格者説明会で提示 |
| ③1学期の終わりにチェック | ④「境総合6ヶ条」を修正 |

(2) 討論会

「高校生にとってのケータイ・スマホ(光と影～賢くつきあうには～)」

コーディネーター 定常 菜都子さん(日本海テレビジョン放送株式会社アナウンサー)

<討論会での主な意見>

○ケータイ(スマホ)・インターネットのプラス面とマイナス面

- ・急用の連絡や部活動や生徒会の一斉連絡で役立っている
- ・アプリで自分の学習時間の管理をしている
- ・悪口を書かれたり、嫌な思いをすることがある

○賢くつきあうために工夫していること

- ・メールを送信する前に、しっかり読み直すように気をつけている
- ・姉妹で勉強中にはケータイを触らないというルールを決めた(成績も伸びた)
- ・「何時から何時までは勉強中だから、連絡しないでね。連絡されても返事できないよ」と友だち同士で確認し合っている
- ・勉強していて集中したい時には、メールがきても「勉強中」という一言を返信している
- ・ケータイやスマホを使う時間をなるべく趣味に使うようにしている
- ・迷惑メールが来ないように、30桁のメールアドレスに変更した

<実践発表>

<討論会>

7 成果

- ・実践発表や討論会により、参加した29校の生徒・教員が、長時間使用による学習時間の減少、LINEなどメールのやり取りに束縛される生活など、ケータイ(スマホ)・インターネットについての課題意識を改めて共有できた。
- ・モデル校が生徒会を中心にさまざまな取組を行った結果、ケータイ(スマホ)の使用時間が短縮されたなどの成果が見られた。また、高校生たちも決して無防備ではなく、ケータイ(スマホ)に振り回されないように、自分なりの工夫をしながら使っていることが討論会で聞き取れた。
- ・高校生フォーラムモデル事業を4年間実施し、モデル校の実践発表、意見交換を通じて、高校生自らが、ケータイ(スマホ)・インターネットとのより良い付き合い方について、見直し改善していく契機となった。今後は、各学校で蓄積された実践事例を参考にしながら、高校生自らが課題に取り組むことを期待する。